

---

令和元年度 厚生労働省 子ども・子育て支援推進調査研究事業  
「産婦健康診査におけるエジンバラ産後うつ病質問票の活用に関する調査研究」

## 外国語版 EPDS 活用の手引き

---

## ◆ 目次 ◆

1. 本手引きの使い方 .....	1
(1) 目的 .....	1
(2) 本手引きを読んでいただきたい方 .....	1
2. EPDS の概要 .....	2
(1) EPDS とは .....	2
(2) 日本語版 EPDS について .....	2
(3) 外国語版 EPDS について .....	2
3. 外国語版 EPDS の使用手続きについて .....	3
(1) 外国語版 EPDS の著作権について .....	3
(2) 外国語版 EPDS を使用する場合の手続きについて .....	3
4. 外国語版 EPDS を使用する際の留意事項（区分点について） .....	4
(1) EPDS の区分点（カットオフ値）とは .....	4
(2) 英語版 EPDS の区分点（カットオフ値）について .....	4
(3) 日本語版 EPDS の区分点（カットオフ値）について .....	4
(4) 外国語版 EPDS の区分点（カットオフ値）について .....	4
(5) 外国語版 EPDS の区分点（カットオフ値）取扱いの事例（海外） .....	5
(6) 外国語版 EPDS を産婦健康診査で利用する際の区分点（カットオフ値）取扱いについて .....	6
5. 外国語版 EPDS の活用事例について .....	7

参考文献一覧

# 1. 本手引きの使い方

---

## (1) 目的

母語が日本語以外の方が産婦健康診査にいらしたとき、EPDS をどのように実施、活用するか参考としていただきたく、作成しました。

産婦健康診査等において、日本語以外の EPDS を使用する場合の入手方法、使用上の留意事項について説明しています。

## (2) 本手引きを読んでいただきたい方

本手引きの主な読み手は『市区町村職員』です。

必要に応じ、産婦健診を実施する医療機関の医療職等にもご提供ください。

## 2. EPDS の概要

### (1) EPDS とは

EPDS (エジンバラ産後うつ病自己評価票 : Edinburgh Postnatal Depression Scale) は、イギリスの研究者、Cox らが、産後うつ病のスクリーニングを目的として開発した調査票です<sup>1</sup>。母親の自己記入する形式の調査票であり、産後うつ病のスクリーニングに広く用いられています。

### (2) 日本語版 EPDS について

日本語版 EPDS は、三重大学岡野教授らが 1996 年に翻訳し、妥当性の検証、日本語版における区分点 (カットオフ値) の検討、逆翻訳等の手続きを経て開発されました。

イギリスでの開発当時は産後 6 週間での健診時の使用が選択されましたが、日本語版 EPDS については、岡野らにより産後 1 か月での使用が検証され、日本周産期メンタルヘルス学会は、「周産期メンタルヘルス コンセンサスガイド 2017」において、日本語版 EPDS の産後 1 か月での実施を推奨しています。

### (3) 外国語版 EPDS について

その他の言語についても、各国で翻訳・研究がなされており、50 言語以上の言語に翻訳・出版されています。

外国語版 EPDS については、EPDS 開発者である Cox らによる EPDS 活用の手引書である、以下の書籍に、英語、日本語等を含む 58 か国語版の EPDS が掲載されています。

著者名	John Cox and Jeni Holden
書籍名	Perinatal Mental Health: A Guide to the Edingurgh Postnatal Depression Scale (EPDS)
出版社	The Royal College of Psychiatrists
EPDS が掲載されている言語	英語、オロモ語、アラビア語、ベンガル語、チェワ語、中国語、チェコ語、ダリー語、オランダ語、エストニア語、ファルシ/ペルシア語、フィリピン/タガログ語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシア語、ヘブライ語、ヒンディー語、ハンガリー語、アイスランド語、イボ語、インドネシア語、イタリア語、日本語、カナダ語、クメール/カンボジア語、コンカニ語、韓国語、クルド語、リトアニア語、マケドニア語、マレー語、マルタ語、ミャンマー/ビルマ語、ネパール語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、パンジャブ語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、セルビア語、スロベニア語、ソマリ語、スペイン語、スウェーデン語、タミル語、タイ語、トルコ語、トウィ語、ウルドゥー語、ベトナム語、コサ語
備考	2003 年初版 第 2 版である 2014 年版が最新版 (2020 年 3 月時点)

<sup>1</sup> Cox JL, Holden JM, Sagovsky R. "Detection of postnatal depression. Development of the 10 item Edinburgh Postnatal Depression Scale", Br J Psychiatry 150:782-786. (1987)

### 3. 外国語版 EPDS の使用手続きについて

---

#### (1) 外国語版 EPDS の著作権について

EPDS の著作権については、英国王立精神科医学会（The Royal College of Psychiatrists）が所有しています。また、各国語の翻訳版についても、英国王立精神科医学会の管理となっています。実際の著作権管理については、出版社であるケンブリッジ大学出版局（Cambridge University Press）が行っています。

#### (2) 外国語版 EPDS を使用する場合の手続きについて

研究者や臨床医が個人的に使用する場合を除き<sup>2</sup>、外国語版 EPDS を使用する場  
合、使用許諾<sup>3</sup>をケンブリッジ大学出版局から取得することが必要です。

原則として、医療機関が EPDS を実施し、診療記録として保持する場合、有料  
の取扱いとなります。ただし、年間の使用件数によって、1 件あたりの使用金額が  
異なり、支払いを免除される場合もあります。

許諾可否や契約手続きは変更される可能性もありますので、外国語版 EPDS の  
使用にあたり、許諾手続きを行う場合は、以下に直接問い合わせをするようにして  
ください。

【連絡先（ケンブリッジ大学出版局ウェブサイト）】

○出版局サイト

<https://www.cambridge.org/>

○書籍紹介サイト

<https://www.cambridge.org/jp/academic/subjects/medicine/mental-health-psychiatry-and-clinical-psychology/perinatal-mental-health-epds-manual-2nd-edition?format=PB&isbn=9781909726130>

---

<sup>2</sup> 各国語版の EPDS が掲載されている、「Perinatal Mental Health: A Guide to the Edingurgh Postnatal Depression Scale (EPDS)」 P79 において、以下の注記がされています。

「The Edinburgh Postnatal Depression Scale may be photocopied by individual researchers or clinicians for their own use without seeking permission from the publishers. The scale must be full and all copies must acknowledge the following source: Cox JL, Holden JM, Sagovsky R (1987) Detection of postnatal depression. Development of the 10-item Edinburgh PostalDepression Scale. *British Journal of Psychiatry*, 150, 782-786. Written permission must be obtained from Royal College of Psychiatrists for copying and distribution to others or for republication (in print, online or by any other medium).」

<sup>3</sup> 「Perinatal Mental Health: A Guide to the Edingurgh Postnatal Depression Scale (EPDS)」に掲載されていない言語への新たな翻訳を実施する場合も、同様にケンブリッジ大学出版局への問い合わせが必要となります。

## 4. 外国語版 EPDS を使用する際の留意事項（区分点について）

### （1）EPDS の区分点（カットオフ値）とは

産後うつ病の可能性が「低い」と「高い」の境界を示しています。

（出所）岡野禎治・宗田 聡「EPDS 活用ガイド」P83

### （2）英語版 EPDS の区分点（カットオフ値）について

Cox らが作成した英語版 EPDS は、英国におけるプライマリ・ケアでのスクリーニングの一環として使用する場合には、12/13(産後 6 週間)とされています。

### （3）日本語版 EPDS の区分点（カットオフ値）について

日本語版 EPDS については、岡野らが産後 1 か月時点において区分点 8/9 とした場合の有効性について検討していることから、8/9 (産後 1 か月)が区分点（カットオフ値）として使用されています。

### （4）外国語版 EPDS の区分点（カットオフ値）について

その他の外国語版 EPDS についても、言語別に各国の研究者により、区分点（カットオフ値）の研究が行われており、言語により区分点（カットオフ値）が異なることが示唆されています<sup>4</sup>。

例えば、前述の Cox らによる EPDS 活用の手引書である「Perinatal Mental Health: A Guide to the Edinburgh Postnatal Depression Scale (EPDS)」においては、「フランス語<sup>5</sup>、中国語<sup>6</sup>、スウェーデン語<sup>7</sup>、マルタ語<sup>8</sup>、イタリア語<sup>9</sup>、日本語<sup>10</sup>、ベトナム語<sup>11</sup>の妥当性の検証研究では、最適な感度のためにオリジナル研究より低いカットオフ値が推奨されているが、これらの要因としては、サンプルサイズの差や実施時期の違い、英語イディオム翻訳の難しさによるものと説明されるかもしれない」との指摘がされています。

したがって、外国語版 EPDS を実施するにあたっては、各国語版における区分点（カットオフ値）研究を考慮し、判断する必要があると考えられます。

<sup>4</sup> 詳細は、当事業報告書および、当手引き巻末に掲載の参考文献等をご参照ください。

<sup>5</sup> Guedeny&Fermanian 「Validation study of the French version of the Edinburgh Postnatal Depression Scale(EPDS). New results about use and psychometric properties」 *European Psychiatry*, 13, 83-89 (1998)

<sup>6</sup> Lee et al 「Detecting postnatal depression in Chinese woman. Validation of the Chinese version of Edinburgh Postnatal Depression Scale」 *British Journal of Psychiatry* 1998

<sup>7</sup> Lundh&Gyllang 「Use of Edinburgh Postnatal Depression Scale in some Swedish child health care centres」 *Scandinavian Journal of Caring Sciences* 1993;Wickberg&Hwang 「The Edinburgh Postnatal Depression Scale: validation on a Swedish community sample」 *Acta Psychiatrica Scandinavica* 1996

<sup>8</sup> Felice et al 「Validation of the Maltese version of the Edinburgh Postnatal Depression Scale」 *Archives of women's Mental Health* 2006

<sup>9</sup> Carpiello et al 「Validation of the Edinburgh Postnatal Depression Scale in Italy」 *Journal of Psychosomatic Obstetrics and Gynaecology* 1997; Benvenuti et al 「The Edinburgh Postnatal Depression Scale: validation for an Italian sample」 *Journal of Affective Disorders* 1999

<sup>10</sup> Okano et al 「Validation and reliability of a Japanese version of the EPDS」 *Archives of psychiatric Diagnosis and Clinical Evaluation* 1996 他

<sup>11</sup> Tran et al 「Screening for perinatal common mental disorders in women in the north of Vietnam: a comparison of three psychometric instruments」 *Journal of Affective disorders* 2011

## (5) 外国語版 EPDS の区分点 (カットオフ値) 取扱いの事例 (海外)

オーストラリアでは、周産期 (妊娠中および産後 4-6 週) に EPDS を用いたスクリーニングが実施されています<sup>12</sup>。

同国最大の州である西オーストラリア州の保健省では、同州における利用を目的として、英語以外の 36 か国語の EPDS の収集と、区分点 (カットオフ値) をとりまとめる調査研究を行いました<sup>13</sup>。

当該調査研究は、英語以外の言語に翻訳された EPDS の区分点 (カットオフ値) に関する、妥当性評価の論文のシステマティックレビューを実施し、西オーストラリア州での使用における、各国語版 EPDS および推奨区分点 (カットオフ値) を示す内容となっています。

### 【西オーストラリア州政府保健省 調査研究の概要】

著者	Department of Health, Government of Western Australia State Perinatal Mental Health Reference Group, Western Australia	
タイトル	"Using the Edinburgh Postnatal Depression Scale (EPDS): Translated into languages other than English"	
出版年	2006 年	
URL	<a href="https://www.mcpapformoms.org/Docs/Edinburgh%20Depression%20Scale%20Translated%20Government%20of%20Western%20Australia%20Department%20of%20Health.pdf">https://www.mcpapformoms.org/Docs/Edinburgh%20Depression%20Scale%20Translated%20Government%20of%20Western%20Australia%20Department%20of%20Health.pdf</a>	
EPDS および西オーストラリア州における区分点 (カットオフ値) が掲載されている言語 <sup>14</sup>  ※括弧内は西オーストラリア州における推奨カットオフ値	1. アラビア語(9/10) 2. 中国語(9/10) 3. オランダ語(12/13) 4. フランス語(10/11) 5. ドイツ語(10/11) 6. イボ語(9/10) 7. イタリア語(9/10) 8. 日本語(8/9) 9. マレー語(11/12) 10. マルタ語(11/12) 11. ノルウェー語(9/10) 12. ポルトガル語(9/10) 13. パンジャーブ語(9/10) 14. 南アフリカ英語(11/12) 15. スペイン語(10/11) 16. スウェーデン語(11/12) 17. トルコ語(12/13) 18. ベトナム語(9/10)	19. オロモ語 (エチオピア) (9/10) 20. アムハラ語(9/10) 21. チェコ語(12/13) 22. ファルシ/ペルシア語(9/10) 23. フィリピン/タガログ語(9/10) 24. ギリシア語(12/13) 25. ヘブライ語(12/13) 26. ヒンディー語(9/10) 27. インドネシア語(9/10) 28. クメール/カンボジア語(9/10) 29. 韓国語(9/10) 30. ミャンマー/ビルマ語(9/10) 31. マケドニア語(9/10) 32. セルビア語(9/10) 33. スロバニア語(9/10) 34. ソマリ語(9/10) 35. タイ語(9/10) 36. ウルドゥー語(9/10)

<sup>12</sup> オーストラリア政府「National Perinatal Depression Initiative」

<https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/content/mental-perinat>

<sup>13</sup> 当該資料は、西オーストラリア州政府により英国王立精神科医学会の許可を得て作成されたものとなっています。

<sup>14</sup> 1~18 は妥当性確認済、19~36 は妥当性未確認とされています。

## (6) 外国語版 EPDS を産婦健康診査で利用する際の区分点（カットオフ値）取扱いについて

このように、EPDS の区分点（カットオフ値）は言語により異なる状況となっています。また、日本において、日本語を母語としない方に外国語版 EPDS を使用する場合、既存の研究で示された区分点（カットオフ値）が適切であるか等については、未だ十分検証がされていないものと考えられます。

さらに、EPDS の区分点（カットオフ値）は、実施時期も含め検証を行う必要があるとされており<sup>15</sup>、既存研究の結果から区分点（カットオフ値）を判断する場合は、注意が必要です。

そのため、外国語版 EPDS をスクリーニングとして使用する場合の区分点（カットオフ値）の設定については、各自治体で慎重に実施することが必要であると考えられます。

産婦健康診査実施時に外国語版 EPDS を利用するにあたっての具体的な区分点（カットオフ値）取扱い方法としては、例えば、以下のようにすることが考えられますが、実際にどのような対応をするかについては、地域や対象者の状況に応じて検討することが必要となります。

### 【外国語版 EPDS を利用する場合の区分点（カットオフ値）取扱い方法例】

#### 【区分点（カットオフ値）を用いる場合】

##### 例 1)

- 日本語と同等の区分点（カットオフ値）（8/9）を使用し、区分点（カットオフ値）以上となった方を対象に、面談等により支援（医療機関受診勧奨等含む）の要否を検討する
- ただし、本人の得点が区分点（カットオフ値）に至らなくも本人の環境や状態によって支援（医療機関受診等含む）の必要性があると考えられる場合は面談・支援等の対象とする等、外国人産婦の支援にあたって別途必要な対応は行われるものとする。

##### 例 2)

- 各言語で研究されている区分点（カットオフ値）を使用し、以降は例 1）と同じ対応とする。

#### 【その他の対応】

- 必ずしも、質問票の合計得点をもとにした検討（スクリーニング）は行わず、面談等で各質問についてたずね、傾聴するなかで支援の要否を検討する
- 質問項目の問 10 の結果をもとに、支援を検討する 等

<sup>15</sup> 岡野禎治・宗田聡「産後うつ病ガイドブック－EPDS を活用するために－」南山堂（2006）（P8）では、日本語版 EPDS の区分点についても、「配布場所、配布時期に関する適正な区分点の検証が今後必要である」ことを指摘しています。

## 5. 外国語版 EPDS の活用事例について

---

当事業においては、全国の自治体にアンケートを実施し、外国語版 EPDS の使用状況について調査を行いました。調査結果については、当事業報告書に掲載されていますので、ご参考としてください。

また、アンケート調査に加え、実際に、産婦健康診査等において外国語版 EPDS を活用している自治体について、ヒアリングによる事例調査を行いましたので、以降に掲載しています。各自治体での活用の参考としていただければ幸いです。

# 【東北地方A市】

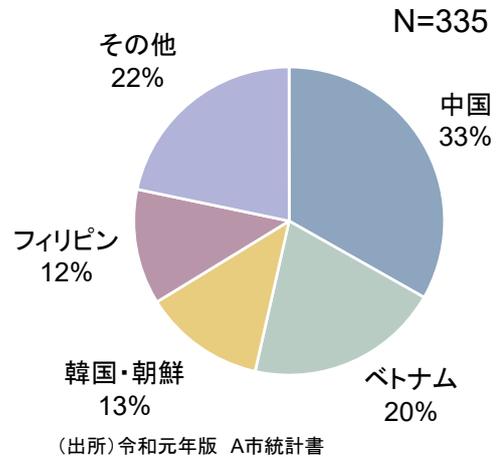
## 地域の概要

- 人口 : 95,905人(2018年9月時点)
  - ✓ うち、外国人人口: 335人(2018年9月時点)
- 2019年4月~7月の出生数: 166人(概数)
  - ✓ うち、母親が日本語を母語としない外国人: 1人(0.6%)
- 地域の特徴
  - ✓ 県の中央部に立地し、新幹線駅、空港を有するなど交通の要所となっている。
- 医療資源
  - ✓ 産科/産婦人科 2か所
  - ✓ 精神科/心療内科 5か所
  - ✓ 小児科(※) 4か所
  - ✓ 助産所 1か所

産科/産婦人科、精神科/診療内科  
両方標榜 0か所

※小児科を主な診療科としている医療機関

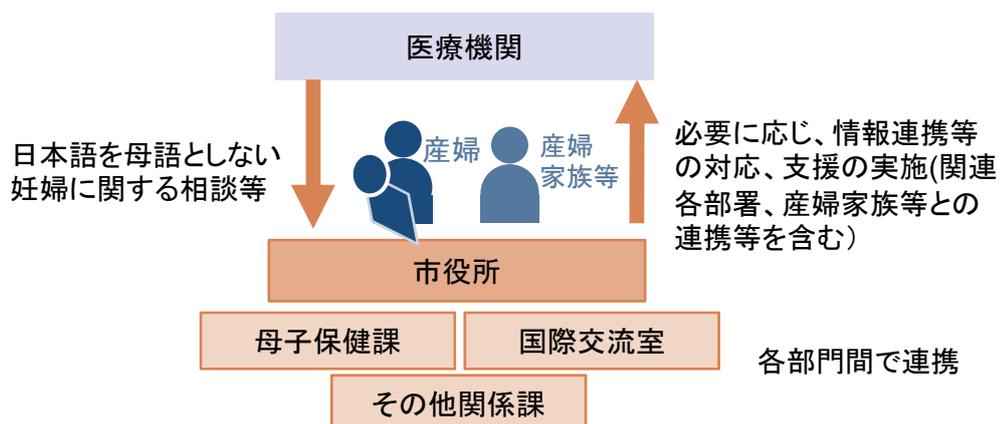
外国人人口の構成(2018年9月時点)



## 取組みの概要

- 日本語を母語としない産婦に対する対応全般
  - ✓ コミュニケーションが難しいことから、妊娠中から病院と必要に応じて情報共有する等、対応を行っている
- 外国語版EPDSの活用状況
  - ✓ 赤ちゃん訪問(乳児家庭全戸訪問事業)で外国語版EPDSを使用
    - 必要に応じ、外国語版EPDSを入手、使用している(過去の実施件数は数件程度)
    - 外国語版EPDSを使用する場合の支援の検討は、合計点数が13点以上、設問10に該当の場合としている
  - ✓ EPDS結果のみで判断するのではなく、家族状況等も含め考慮し、支援要否を検討している
- 外国語版EPDSを補完するための工夫
  - ✓ 市内に通訳の派遣団体がいないため、家族や同じ国出身の支援者に面談に同席いただき、通訳してもらうこともある
  - ✓ 外国語の場合、EPDSの点数が高く出る傾向があるため、13点をカットオフ値とし、複合的に支援の必要性を検討している

### 支援体制、事例等



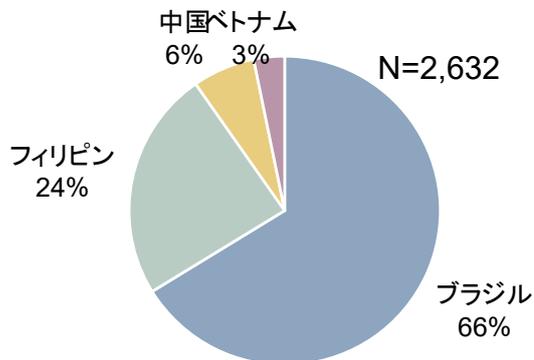
# 【静岡県菊川市】

## 地域の概要

- 人口 : 48,616 人(2020年1月時点)
  - ✓ うち、外国人人口: 3,745人
- 2019年4月~7月の出生数: 140人
  - ✓ うち、母親が日本語を母語としない外国人: 7人(5.0%)
- 地域の特徴
  - ✓ 市内に工業団地が複数あり、自動車関連の企業が多い
- 医療資源
  - ✓ 産科/産婦人科 2か所
  - ✓ 精神科/心療内科 1か所
  - ✓ 小児科 3か所
  - ✓ 助産所 1か所

産科/産婦人科、  
精神科/診療内科  
両方標榜 1か所

外国人人口の構成(2017年4月末時点)



(出所) 菊川市ウェブサイト「外国人住民の状況」

## 取組みの概要

- 日本語を母語としない産婦に対する対応全般
  - ✓ 母子手帳交付時のアンケート・面談により、支援の必要性を判断し、継続してフォローしており、日本人を含め、EPDSの結果と、妊娠期からの継続フォローの中で対応を行っている(EPDS 9点以上のフォローも実施)
- 外国語版EPDSの活用状況
  - ✓ 産婦健診で外国語版EPDSを使用
    - 準備している外国語: 英語、ポルトガル語
    - 外国語版EPDSを使用する場合の支援の検討は日本語で実施の場合と同じ(合計点数が9点以上、設問10に該当の場合)
    - EPDSの他、ボンディング用紙を用意
    - ポルトガル語は通訳が同席
  - ✓ 産婦健診以外に、赤ちゃん訪問の際にも外国語版EPDSを実施している
  - ✓ 母子手帳交付時に外国語版EPDSを挟む
  - ✓ 必要に応じて産後ケアや医療機関に連携
- 外国語版EPDSを補完するための工夫
  - ✓ 保健センター内に通訳がいるため、母親に庁舎に来庁してもらっての面談で、通訳に同席してもらっている(ポルトガル語、英語は庁内に通訳がいるため、対応が可能)
  - ✓ 翻訳機(ポケットク)も活用している。

### 支援体制、事例等

#### 母子手帳交付時

アンケートの実施  
(日本語・英語・ポルトガル語版)



面談

国籍、使用言語に関わらず、フォローの必要性について母子保健担当部署(保健師)が検討、内部で情報共有。

必要な方は妊娠中から継続してフォロー

#### 市役所内通訳の活用

- 福祉課(保健センター)にポルトガル語通訳、本庁地域支援課にポルトガル語、英語通訳を配置。また、地域支援課には外国人相談窓口を設置(市独自、補助金利用等、財源は部署により異なる)

- 配置通訳による同行訪問は原則不可であるため、来庁していただく形での対応を行っている

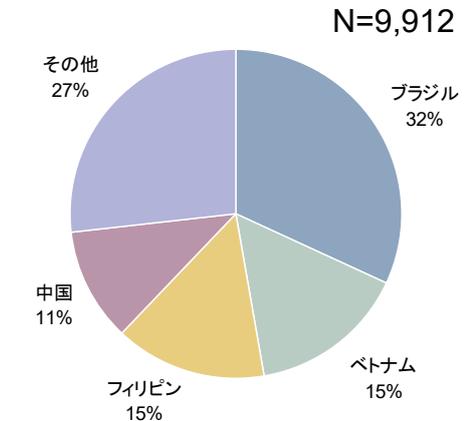
# 【愛知県小牧市】

## 地域の概要

- 人口 : 153,026 人(2020年1月時点)
  - ✓ うち、外国人人口: 9,912人
- 2019年4月~7月の出生数: 365人
  - ✓ うち、母親が日本語を母語としない外国人: 49人(13.4%)
- 地域の特徴
  - ✓ 中部地方の交通の要所であり、工業都市である
- 医療資源
 

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 産科/産婦人科 6か所</li> <li>✓ 精神科/心療内科 3か所</li> <li>✓ 小児科 8か所</li> <li>✓ 助産所 1か所</li> </ul>	}	産科/産婦人科、 精神科/心療内科 両方標榜 1か所
---	---	----------------------------------

外国人人口の構成(2020年1月時点)

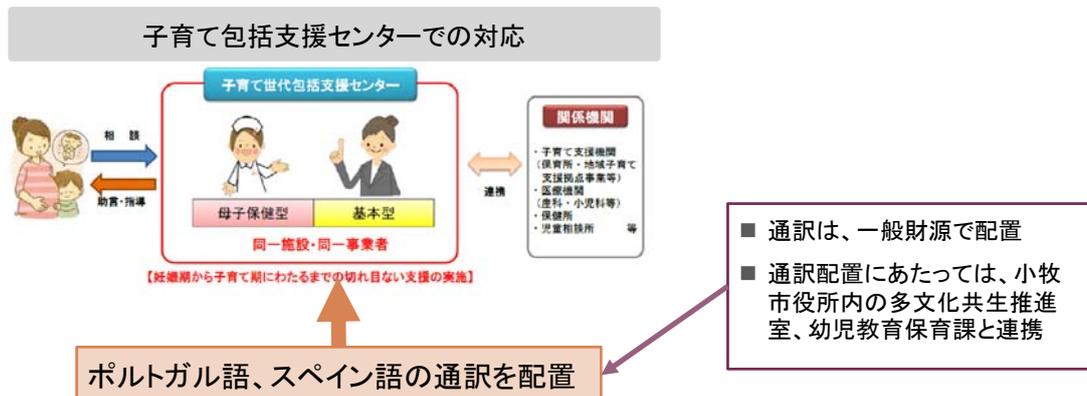


(出所)小牧市ウェブサイト「小牧市の人口 外国人人口」

## 取組みの概要

- 日本語を母語としない産婦に対する対応全般
  - ✓ 日本語を母語としない場合、風習の違いや情報弱者となることで適切な支援が受けられない可能性があることから、妊娠届の時点からハイリスク妊娠に準じた対応を行っている
- 外国語版EPDSの活用状況
  - ✓ 産婦健診で外国語版EPDSを使用(医療機関に配布、医療機関の判断で活用)
    - 準備している外国語: 英語、スペイン語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語
    - 外国語版EPDSを使用する場合の支援の検討は日本語版のカットオフ値を参考としている
  - ✓ EPDS結果を支援要否判断の参考として、できるだけ訪問を実施し、直接母子の様子を確認した上で最終的な判断とする
- 外国語版EPDSを補完するための工夫
  - ✓ 子育て世代包括支援センターにポルトガル語およびスペイン語の通訳を配置し母語で相談をできる体制をとっている(電話相談および訪問)
  - ✓ EPDSの結果を産後うつという視点のみでなく、母子の抱える社会的背景に鑑みて判断し、個々が必要とする支援を実施する

### 支援体制、事例等



(出所)小牧市資料を元に作成

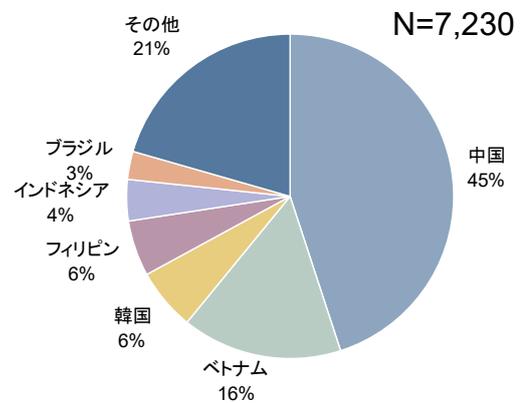
# 【広島県東広島市】

## 地域の概要

- 人口 : 188,992 人(2020年2月時点)
  - ✓ うち、外国人人口: 8,051人
- 2019年4月~7月の出生数: 536人
  - ✓ うち、母親が日本語を母語としない外国人: 4人(0.7%)
- 地域の特徴
  - ✓ 市内に大学のキャンパスを有するため、留学生が多い。近時は就労の外国人居住者も増加
- 医療資源
 

<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 産科/産婦人科 8か所</li> <li>✓ 精神科/心療内科 12か所</li> <li>✓ 小児科 34か所</li> <li>✓ 助産所 0か所</li> </ul>	}	産科/産婦人科、 精神科/診療内科 両方標榜 1か所
---	---	----------------------------------

外国人人口の構成(2019年時点)



(出所)東広島市「統計でみる東広島2018」

## 取組みの概要

- 日本語を母語としない産婦に対する対応全般
  - ✓ 日本人と同様に、産婦健診の実施、要支援者への訪問等の対応を行っている
- 外国語版EPDSの活用状況
  - ✓ 産婦健診で外国語版EPDSを使用
    - 準備している外国語: 英語、中国語、ベトナム語
    - 産婦に用紙を配布し、事前に記入した上で産婦健診を受診し、健診時に聞き取りを行っている
    - 外国語版EPDSを使用する場合の支援の検討は日本語で実施の場合と同じ(合計点数が9点以上、赤ちゃんへの気持ち2点以上、面談で気になる人)
    - 上記に該当し、支援の必要性がある可能性がある方には、できるだけ早期に保健師が訪問し、状況を確認している(言語上の問題でEPDSの点数が高く出ているとみられる場合も、高得点者という事実を基に訪問を行うこととしている)
  - ✓ 医療連携が必要になった場合の対応
    - 外国語対応が可能な医療機関との連携等を行っている
- 外国語版EPDSを補完するための工夫
  - ✓ 保健師の訪問にあたり、日本語対応が難しい方については、英語対応が可能な職員による訪問、通訳(英語、中国語、ベトナム語)通訳の同行等の対応を行っている
  - ✓ 通訳対応が困難な場合、産婦友人等の支援者が同席することもある

### 支援体制、事例等

産婦健診(医療機関)
外国語版EPDS (英語/中国語/ベトナム語)
赤ちゃんへの気持ち質問票
面談者のコメント



- |      |
|------|
| 東広島市 |
|------|
- EPDS高得点者、赤ちゃんへの気持ち質問票2点以上、面談でのコメントで必要性がある場合、訪問対応を行う
  - 必要に応じ、**通訳**の同行

- 同行通訳については、一般財源で予算を計上
- 派遣実施は市内の公益財団法人東広島市教育文化振興事業団
- 市役所内部では、政策推進監(国際化担当)部署があり、翻訳や来庁者の通訳を行っている

## 参考文献一覧

---

- 1) Cox JL, Holden JM, Sagovsky R. "Detection of postnatal depression. Development of the 10 item Edinburgh Postnatal Depression Scale", Br J Psychiatry 150:782-786. (1987)
- 2) 岡野禎治ほか「日本版エジンバラ産後うつ病自己評価表 (EPDS) の信頼性と妥当性」精神科診断学 7 (4) : 525-533 (1996)
- 3) 岡野禎治・宗田聡「産後うつ病ガイドブックーEPDS を活用するためにー」南山堂(2006)
- 4) Department of Health, Government of Western Australia"Using the Edinburgh Postnatal Depression Scale (EPDS):Translated into languages other than English" State Perinatal Mental Health Reference Group, Western Australia(2006)
- 5) John Cox, Jeni Holden and Carol Henshaw : "Perinatal Mental Health : The Edinburgh Postnatal Depression Scale(EPDS) Manual 2nd edition", The Royal College of Psychiatrists (2014)
- 6) 岡野禎治・宗田聡「EPDS 活用ガイド : 産後うつ病スクリーニング法と産後健診での正しい対応」南山堂 (2017)
- 7) 日本産婦人科医会「妊産婦メンタルヘルスケアマニュアル～産後ケアへの切れ目のない支援に向けて～」(2017)
- 8) 日本周産期メンタルヘルス学会「周産期メンタルヘルス コンセンサスガイド 2017」(2017)
- 9) National Collaborating Centre for Mental Health「Antenatal and Postnatal Mental Health:The NICE Guideline on Clinical Management and Service Guidance」
- 10) 鈴木俊治「エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) ほか各種質問票によるスクリーニング」ペリネイタルケア Vol.38 no.37(657) (2019)

令和元年度 厚生労働省 子ども・子育て支援推進調査研究事業  
「産婦健康診査におけるエジンバラ産後うつ病質問票の活用に関する調査研究」  
外国語版 EPDS 活用の手引き

---

令和2（2020）年3月  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2  
電話：03-6733-1024